

株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
期末配当金受領株主 確定日	1月31日
中間配当金受領株主 確定日	7月31日
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.imura.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)

株式に関する諸手続についてのご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。



環境に配慮し、植物油インキを使用しております。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しております。

IMURA ENVELOPE CO.,INC.



第72期 中間報告書

2021年2月1日

2021年7月31日

INDEX	
株主の皆様へ	1
連結財務諸表	3
トピック	5
IMURA コラム	6
メモルダーお届けのご案内	7
株式の状況・所有者別状況	9
会社の概要・役員・事業所	10

Imura Report



株式会社 イムラ封筒

証券コード3955



代表取締役社長 井村 優

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第72期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を兼ね、事業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞等により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便の取扱数量は、前年同期比横ばい圏内で推移しており、需要回復の兆しは未だ確認されておりません。ダイレクトメール市場においては、「折込・DM郵便料（経済産業省公表）」が増加に転じるなど一部で回復の兆しが確認されるものの、郵便通数の増加には結びついておらず、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは、「**Give&Give&Give**（全ての人に最高の付加価値を届け続ける）」をテーマに掲げ、「変革とイノベーション（革新）により新たな成長軌道を実現し、企業価値の更なる向上を図ることにより全てのステークホルダーに最高の付加価値を提供する。」を基本方針とする3か年の新中期経営計画「IMURA VISION 2030 Stage I」をスタートさせ、新生イムラの基盤づくりを、全社を挙げて進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、コロナ禍による日本経済の大幅な停滞に伴う需要の後退に加え、前期の官公庁大口案件の剥落の影響もあって、107億9百万円（前年同期比8.2%減）となりました。損益面につきましては、付加価値の高い商品・サービスの提案等収益性を重視した各種販売施策の実施や固定費の削減に努めた結果、営業利益は9億38百万円（前年同期比0.1%増）、経常利益は10億22百万円（前年同期比1.1%増）とほぼ前期並みとなり、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億21百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

株主の皆様におかれましては、何卒、今後とも引き続き変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2021年10月

セグメントの概況

パッケージソリューション事業

官需による一部下支えがあったものの、イベント告知等のDM用封筒の減少をはじめとして、コロナ禍による経済活動後退による需要の落ち込みにより、売上高は79億62百万円（前年同期比9.3%減）となりました。損益面では、内製化の推進や生産性の向上に努めたほか、上述の収益性の改善も加わり、営業利益は6億88百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

メーリングサービス事業

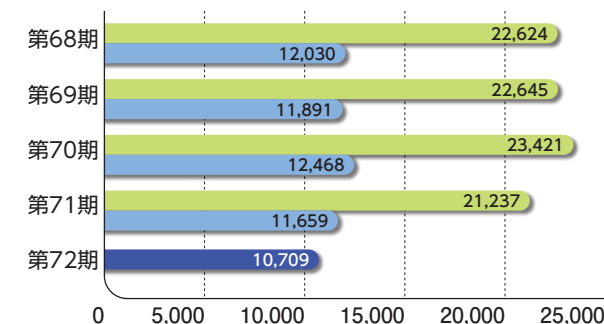
コロナ禍による需要の落ち込みがあったものの、既存取引先への深耕活動に加え、官需の取り込みもあり、売上高は20億32百万円（前年同期比1.2%増）となりました。損益面では、積極的な営業展開を図るべく、人員の増強を先んじて実施したこともあって、営業利益は2億24百万円（前年同期比11.0%減）となりました。

その他

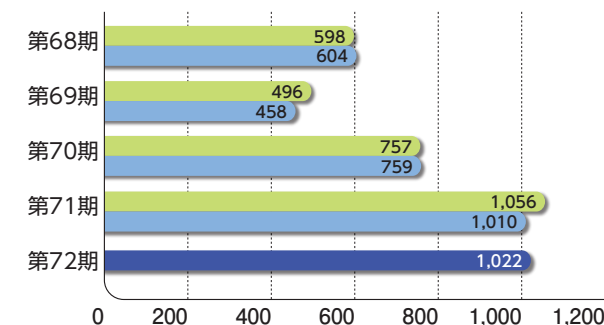
情報システム事業及び子会社2社ともに減収を余儀なくされ、売上高は7億13百万円（前年同期比18.0%減）となるものの、販売管理費の抑制や売上総利益率の改善により、営業利益は38百万円（前年同期比121.8%増）となりました。

財務ハイライト(連結)

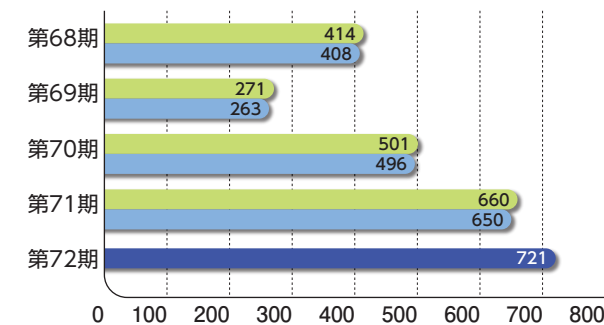
売上高(単位:百万円)



経常利益(単位:百万円)



親会社株主に帰属する純利益(単位:百万円)



連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科 目	前期末 (2021年1月31日現在)	当第2四半期末 (2021年7月31日現在)
資産の部		
流動資産	8,616	8,878
現金及び預金	2,922	3,077
受取手形及び売掛金	3,387	3,535
電子記録債権	1,000	1,058
たな卸資産	1,198	1,066
その他	106	140
固定資産	10,058	9,901
有形固定資産	7,495	7,287
建物及び構築物	1,374	1,330
機械装置及び運搬具	2,093	1,952
土地	3,636	3,644
その他	389	359
無形固定資産	53	115
投資その他の資産	2,509	2,498
投資有価証券	1,206	1,191
その他	1,303	1,306
資産合計	18,674	18,779

資産の部

機械装置及び運搬具が減少した一方で、現金及び預金並びに受取手形及び売掛金が増加したことにより、資産合計は前期末に比べ1億5百万円増加し、187億79百万円となりました。

(単位: 百万円)

科 目	前期末 (2021年1月31日現在)	当第2四半期末 (2021年7月31日現在)
負債の部		
流動負債	4,065	3,780
支払手形及び買掛金	1,127	888
電子記録債務	1,078	1,073
その他	1,859	1,818
固定負債	536	528
負債合計	4,602	4,308
純資産の部		
株主資本	13,040	13,468
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,368	1,377
利益剰余金	10,801	11,320
自己株式	△ 328	△ 426
その他の包括利益累計額	980	951
その他有価証券評価差額金	273	301
退職給付に係る調整累計額	706	649
新株予約権	37	37
非支配株主持分	14	13
純資産合計	14,072	14,470
負債純資産合計	18,674	18,779

負債の部

支払手形及び買掛金が減少したことにより、負債合計は前期末に比べ2億93百万円減少して、43億8百万円となりました。

純資産の部

利益剰余金の増加などにより、前期末に比べ3億98百万円増加し、144億70百万円となりました。

なお、自己資本比率は前期末に比べ1.7ポイント上昇し、76.8%となりました。

※自己資本比率は新株予約権及び非支配株主持分を除いて算出しております。

連結損益計算書 (単位: 百万円)

科 目	前第2四半期 (2020年2月 1 日から 2020年7月31日まで)	当第2四半期 (2021年2月 1 日から 2021年7月31日まで)
売上高	11,659	10,709
売上原価	8,633	7,814
売上総利益	3,026	2,894
販売費及び一般管理費	2,088	1,955
営業利益	937	① 938
営業外収益	82	90
営業外費用	9	7
経常利益	1,010	1,022
特別利益	0	11
特別損失	73	2
税金等調整前四半期純利益	937	1,030
法人税、住民税及び事業税	305	257
法人税等調整額	△18	51
四半期純利益	650	721
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	650	721

① 営業利益

コロナ禍による売上の落ち込みがあったものの、付加価値の高い商品・サービスの提案等収益性を重視した各種販売施策の実施により、売上総利益率が上昇し、販売費及び一般管理費も減少したことから、営業利益はほぼ前期並みの9億38百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科 目	前第2四半期 (2020年2月 1 日から 2020年7月31日まで)	当第2四半期 (2021年2月 1 日から 2021年7月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,329	564
投資活動によるキャッシュ・フロー	△420	△96
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170	△318
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	738	148
現金及び現金同等物の期首残高	2,199	2,817
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,937	2,966

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の収入は5億64百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として税金等調整前四半期純利益10億30百万円、資金の減少要因として仕入債務の減少額2億44百万円、法人税等の支払額2億43百万円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の支出は96百万円となりました。これは主に、資金の増加要因として投資有価証券の売却による収入70百万円、資金の減少要因として無形固定資産の取得による支出79百万円、有形固定資産の取得による支出77百万円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の支出は3億18百万円となりました。これは主に、配当金の支払額2億2百万円、自己株式の取得による支出1億10百万円によるものです。

■配当金について

当期の中間配当につきましては、当初の予定通り見送らせていただくこととなりました。

ていねいにDM



イムらと

<https://www.imurato.jp/>

いつも頼れる、
私のCRMコンシェルジュ。

戦略・企画・制作・印刷・効果検証まで、
ダイレクトマーケティングを「ていねいに」サポート

2021年4月、EC・通販企業向けに、ダイレクトマーケティングの戦略立案・企画制作から3PL(サードパーティー・ロジスティクス)の物流まで包括的に支援するサービスブランド「イムらと」を立ち上げました。

「イムらと」は、“DMをていねいにサポートする”をコンセプトとしたダイレクトマーケティング支援事業です。EC・通販企業を中心に、イムラ封筒がダイレクトメールの発送業務などで培ったノウハウを提供し、お客さまのダイレクトマーケティングの施策や戦略の意思決定に深くかわり、戦略立案から企画・制作・印刷・効果検証までを一気通貫で担い、ダイレクトマーケティングのPDCAサイクルを回転させます。

これにより、お客さまの事業におけるLTV(Lifetime Value:顧客生涯価値)の最大化など、ダイレクトマーケティングの効果向上を実現します。

当社では現在、将来的な主力事業化も見据え「イムらと」の事業拡大に取り組んでいます。

イムらとHPはこちらから▶



「イムらと」でできること



ニッポン

「近代郵便」始め

郵政博物館の收藏品から

第5回

近代郵便の創業当時は郵便局で異なっていた消印。

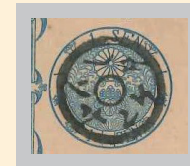
切手の貼られた封書やハガキに押印されている「消印」。近代郵便の創業当時は、今日、全国の郵便局で使われている「普通日付印」とは異なり、郵便局によってさまざまな印が使われていました。



①大隈郵便局(福岡県)



②宇佐郵便局(大分県)



③添田郵便局(福岡県)

各地の郵便局で独自に作成された消印。ボールに掲げられた旗のデザイン(①)は福岡県の大隈郵便局のもの。「ラクマケムサ(大隈検査)」と記されている。

消印の役割は、切手の再使用を防止するとともに、郵便局の引受けを証明することです。消印については、1871年の郵便制度創業の前年に、前島密が海外視察のために乗船していたアメリカ船の中で知り、創業と同時に切手に「検査済印」が押されるようになったのが始まりですが、これでは引受局がわからなかったため、郵便局がそれぞれに局名(地名)の入った印を独自に作り、デザインも形もさまざまな印が誕生したようです。



最初の統一日付印とされる「二重丸型日付印」。1888年まで使用された。

日本で初めて日付も入った「二重丸型日付印」が登場したのは、郵便料金が統一された1873年。当初は東京や大阪など大きな局で使われ始め、やがて1875年頃に全国で使われるようになりました。しかしその頃は、切手の抹消と日付の表示が別々に行われていたうえ、中継局や到着局でも押印していたため、郵便物にはいくつも印が押されていたとか。今日のように日付印一つで、切手の抹消と引受局・日付の表示が行われるようになったのは、「丸一型日付印」が使われるようになった1888年からのことです。



1888年から全国で使用された「丸一型日付印」の印影。

短い期間でしたが、郵便局ごとに異なる消印が使われていたとは、まるで名所や史跡を描いた現在の「風景入日付印」のようで、今ならコレクターを喜ばせたかもしれません。



各地の名所や史跡の描かれた現在の「風景入日付印」。(個人蔵)

資料提供・監修
郵政博物館東京都墨田区押上1-1-2 東京スカイツリータウン・ソラマチ9F
TEL:03-6240-4311 <https://www.postalmuseum.jp/>

メモルダーお届けのご案内

お申込みはがきを
ご返送いただいた株主の皆様へ

2022年版 メモルダーを お届けいたします

株主様の日頃のご支援に感謝し、今年も当社オリジナル商品のポケット付きカレンダー「メモルダー」をお届けいたします。お好きなメモルダーをお届けいたしますので、同封のお申込みはがきにてご希望の商品番号をお知らせください。「メモルダー」のお届けは、7月31日現在の株主名簿に記載または記録された**1単元(100株)以上**ご所有、かつお申込みはがきをご返送いただいた株主様に限らせていただきます。何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。

お申込み方法

1単元(100株)以上ご所有の株主様には、お申込みはがきを同封しておりますので「お名前」「電話番号」「株主番号」「メールアドレス(任意)」ご希望の商品番号(1～5の中から1点)をご記入のうえ、ご返送ください。

■お申込み受付期限

2021年10月末日(当社到着分)

■お届け

2021年12月上旬の予定

はがきのご返送がない場合はお送りいたしませんので、何卒ご了承くださいますようお願い申し上げます。なお、お申込み時に特にご指定のない場合は[1.実用メモルダー]をお届けいたします。

商品番号

1



実用メモルダー

人気のスタンダードタイプ

商品番号

2



クラフトメモルダー

クラフト調の壁かけタイプ

商品番号

3



花メモルダー

季節感ある壁かけタイプ

商品番号

4



卓上メモルダー

実用性が高い卓上タイプ

商品番号

5



ナチュラル卓上カレンダー

環境配慮の卓上タイプ



カラー
ユニバーサル

六曜
旧暦

二十四
節気

見開きサイズ : 245×443mm

ポケット数 : 12枚

カラーユニバーサルデザイン認定製品^{※1}

※1.色覚の多様性に配慮し、平日と休日の区別がしやすいよう、色づかいを工夫しています。



見開きサイズ : 245×443mm

ポケット数 : 12枚



見開きサイズ : 270×522mm

ポケット数 : 12枚



カラー
ユニバーサル

UD
FONT

前月・翌月・翌々月
カレンダーがついています



サイズ : 185×138mm

ポケット数 : 13枚(有効数12枚)

カラーユニバーサルデザイン認定製品^{※1}



UD
FONT

前月・翌月・翌々月
カレンダーがついています



環境に配慮した
紙素材リングを採用

裏面にはポケットと
メモに使えるフリー
スペース

サイズ : 185×138mm

ポケット数 : 13枚(有効数12枚)

株式の状況・所有者別状況

株式の状況

(2021年7月31日現在)

発行可能株式総数 **38,000,000株**発行済株式の総数（自己株式704,725株を含む） **10,729,370株**株主数（前期末比239名減） **1,978名**

大株主

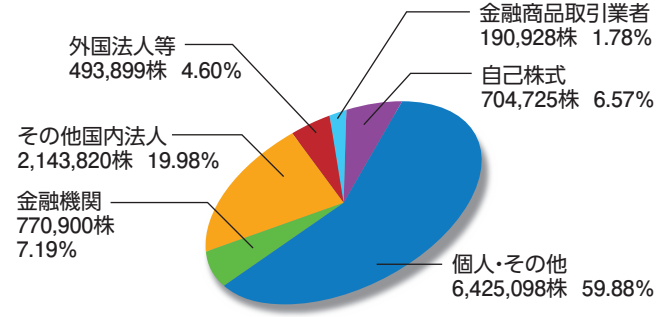
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
イムラ封筒社員持株会	727,352	7.25
井村 優	439,700	4.38
有限会社ケイ・アンド・アイ コーポレーション	385,250	3.84
有限会社アイ・エム興産	358,750	3.57
井村 美和	318,000	3.17
井村 守宏	310,200	3.09
井村 達男	302,000	3.01
日本紙パルプ商事株式会社	300,000	2.99
井村 光一	297,200	2.96
イムラ封筒取引先持株会	282,600	2.81

(注) 1. 当社は自己株式704,725株を保有していますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式数(704,725株)を控除して算出しております。

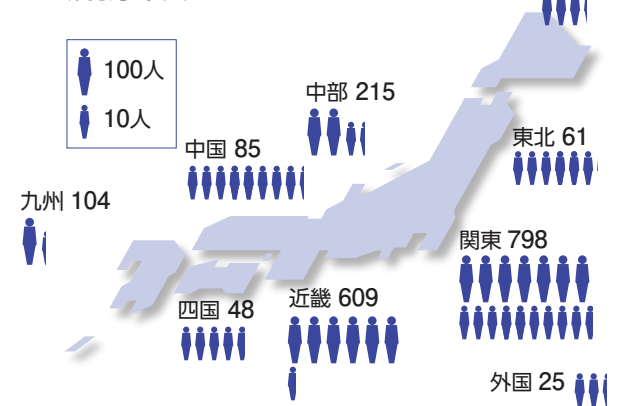
所有者別状況

(2021年7月31日現在)

所有者別分布表



地域別分布表



イムラだからできる、企業のトータルビジネスサポート。

独創的な商品を生み出す封筒事業から、メーリングサービス、ITシステム提案まで。イムラ封筒はビジネスコミュニケーションをトータルサポートします。

メーリングサービス事業

封筒の新しい価値をお客様に提案するサービスです。各種DMの企画から宛名印刷・封入・加工・発送、顧客リスト管理まで総合的なビジネスサポートを実現。お客様のコミュニケーション活動の効率化やコストダウンを強力に支援します。

パッケージソリューション事業

数々の新商品を提案する開発力と、ロットの大小に関わらず常に安定した品質を低コストで提供する生産力、お客様のニーズに迅速・的確に応える機動力を備えています。コミュニケーションの可能性を追求し続けるイムラ封筒のコア事業です。

情報システム事業

IT分野でも、イムラ封筒は社会に貢献しています。お客様のニーズやビジネススタイルに最適なシステムやソフトウェアを提供。お客様利益を常に最優先する姿勢はこの分野でも貫かれています。

Total Business Support

会社の概要・役員・事業所

会社の概要

(2021年7月31日現在)

商号	株式会社イムラ封筒 (英文名:IMURA ENVELOPE CO.,INC.)
本店	〒542-0076 大阪市中央区難波五丁目1番60号 なんばスカイオ18階 電話(06)6586-6121(代表)
創業	大正7年7月
設立	昭和25年2月
資本金	1,197,986,033円
事業内容	1. 封筒、袋などの紙製品、文具の製造、販売及び事務用品、日用雑貨品の販売 2. 不織布、合成樹脂シートを素材とする封筒、袋類、建築・造園資材の製造、販売 3. 印刷物などの物品の保管、封入、包装、梱包及び発送業務の代行 4. 倉庫業 5. 印刷、封入及び包装用機械の企画、研究開発、製造、販売及び輸出入 6. ダイレクトメールの発送及び請求書の発行等に関する情報処理業務の受託 7. 広告代理業務 8. コンピュータ及び周辺機器、事務用機器の販売、教育指導及び保守管理 9. コンピュータソフトウェアの企画、開発、制作、販売及び保守管理 10. インターネットへの接続サービス業務 11. 電気通信工事業 12. 医療用事務機器及び資材の販売 13. セミナーの企画、立案、制作、斡旋及び運営 14. 前記各号に付帯する一切の業務

従業員数 連結 853名 単体 787名 (2021年7月31日現在)

子会社 東杏印刷株式会社 株式会社メトロテック

事業所

(2021年7月31日現在)

大阪

大阪本社
西日本パッケージソリューション営業統括部
▶西日本パッケージソリューション営業第一部 営業一課
▶西日本パッケージソリューション営業第二部 営業一課
▶情報システム事業部 営業課・DPS課
メーリングソリューション事業部
▶メーリングソリューション第一部
▶マーケティングソリューション二課

大阪

平野事業所／▶情報システム事業部 DPS課

福岡

▶西日本パッケージソリューション営業第二部 営業二課

宮崎 都城工場

奈良 御所工場

愛知

▶西日本パッケージソリューション営業第二課

東京

昭島事業所／▶情報システム事業部 DPS課

茨城

筑波工場

神奈川

相模原工場

奈良

奈良新庄工場／▶情報システム事業部 開発課

北海道

▶東日本パッケージソリューション営業第一部 札幌営業グループ

東京

東京本社
東日本パッケージソリューション営業統括部

▶東日本パッケージソリューション営業第一部

▶東日本パッケージソリューション営業第二部

▶東日本パッケージソリューション営業第三部

メーリングソリューション事業部

▶メーリングソリューション第一部 マーケティングソリューション課

▶メーリングソリューション第一部 マーケティング&クリエイティブ課

▶メーリングソリューション第二部

▶新規事業開発室

▶情報システム事業部 DPS課